



カーボンフットプリント(CFP)

CFP宣言

登録番号：JR-BC-20003C

エコリーフ環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区鍛冶町2-2-1

<https://ecoleaf-label.jp>

中本造林株式会社  
Nakamoto Zourin Co.,Ltd

建築用内外装部材 焼杉 / 浮造(無塗装・国産材)  
Yakisugi『Shou Sugi Ban』/ Pika-Pika



浮造  
(Pika-Pika)



Pika-Pika施工例 (米国)



浮造施工例 (日本)

### 算定単位

製品 1 m<sup>2</sup>あたり (厚み：15mm)

### 算定対象段階

最終財 中間財

- ・対象：【A1】原材料調達、【A2】原材料輸送、【A3】製品製造
- ・対象外：【A4】施工現場への輸送、【A5】施工、【B1】使用、【B2】メンテナンス、【B3】修繕、【B4】製品の交換、【B5】改装、【B6】製品使用時のエネルギーの使用、【B7】製品使用時の水の使用、【C1】撤去・解体、【C2】使用済み製品の輸送、【C3】使用済み製品の中間処理、【C4】廃棄物処理

### 製品の型式、主要仕様・諸元

- ・製品重量：約6.1kg
- ・無塗装製品
- ・広島工場と徳島工場生産 (本結果は平均値)

### 問い合わせ先

〒738-0224

広島県廿日市市栗栖508

中本造林株式会社 製造部 管理課

tel 0829-72-0222 <https://www.nakamotozourin.co.jp>

### 登録番号

JR-BC-20003C

### 適用PCR番号

PA-120000-BC-01

### PCR名

木材・木質材料

### 公開日

2020年4月6日

### 検証合格日

2020年3月12日

### 検証方式

個品別検証方式

### 検証番号

JR-BC-20003

### 検証有効期間

2025年3月12日

### PCRレビューの実施

認定日等 2019年 12月 25日

委員長 神崎 昌之

(一般社団法人サステナブル経営推進機構)

### 第三者検証者\*

外部検証員

淵上 智子

ISO/TS14067に従った本宣言及びデータの独立した検証

内部

外部

\*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

登録番号：JR-BC-20003C



### ① CFP算定結果

算定単位 製品 1 m2あたり

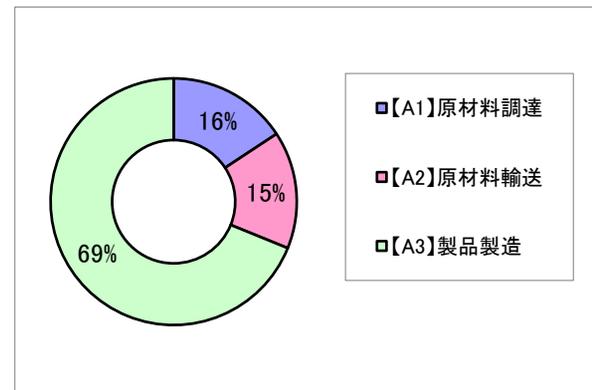
項目		数値	単位
CFP算定結果		2.3	kg-CO <sub>2</sub> eq
内訳	【A1】原材料調達	0.36	kg-CO <sub>2</sub> eq
	【A2】原材料輸送	0.36	kg-CO <sub>2</sub> eq
	【A3】製品製造	1.6	kg-CO <sub>2</sub> eq
CFPマークへの表示		2.3	kg-CO <sub>2</sub> eq
表示単位：		製品 1 m2あたり	

※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

### ③ その他の環境関連情報

特になし。

### ② 算定結果に関する追加情報



本評価では、2017年10月～2018年9月の1年間のデータをもとに入出力データを整備しました。輸送もこの1年間の実態データを収集して評価しました。それに二次データに乗ずることで、温室効果ガス排出量を算出しています。なお、本製品は、広島工場と徳島工場で生産しており、本結果は両工場の平均値となっています。

炭素貯蔵量については当該PCRの附属書Fに基づき、以下のように算出しました。

$$\begin{aligned} & \text{貯蔵炭素量 (kg-C)} \\ & = \text{材料中の木材の全乾重量 (kg-木材)} \times 0.5 \\ & = 6.06 \text{ (kg-木材)} \times 0.5 = 3.03 \text{ (kg-C)} \\ & * \text{CO}_2\text{換算値} : 11.1 \text{ (kg-CO}_2\text{)} \end{aligned}$$

### ④ CFP算定結果の解釈

本評価では、【A3】製品製造が大きくなり、次いで【A1】原材料調達、【A2】原材料輸送が大きい結果となりました。

中でも、【A3】製品製造は、製品の加工（製材工程や焼き工程）の電力消費・焼き工程の化石燃料消費に起因する温室効果ガスの排出量が多い結果となりました。【A1】原材料調達は原木生産、【A2】原材料輸送は原木の工場への輸送に伴う温室効果ガスの排出量が多い結果となりました。

### ⑤ 使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3を使用した。

### ⑥ 備考

-

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。  
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)
- 製品の提供により生じる気候変動以外のその他の潜在的な社会的／経済的／環境的影響の評価は行っていません。